クレディター・プレゼンテーション

2013年3月期第3四半期 決算説明資料



野村ホールディングス株式会社

本資料は、野村ホールディングス株式会社が、米国会計基準による2013年3月期第3四半期の業績に関する情報の提供を目的として作成したものです。

本資料は、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。売付または買付の勧誘は、それぞれの国・地域の法令諸規則等に則って作成・配布される募集関連書類または目論見書に基づいて行われます。

本資料に掲載されている情報や意見は、信頼できると考えられる情報源より取得したものですが、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではありません。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落、誤謬、本情報の使用により引き起こされる損害等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

本資料のいかなる部分も一切の権利は野村ホールディングス株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、当社の書面による承諾を得ずに複製または転送等を行わないようお願いいたします。

本資料は、将来の予測等に関する情報(「将来予測」)を含む場合があり、また当社の経営陣は将来予測に関する発言を行うことがあります。これらの情報は、過去の事実ではなく、あくまで将来の事象に対する当社の予測にすぎず、その多くは本質的に不確実であり、当社が管理できないものであります。実際の結果や財務状態は、これらの将来予測に示されたものとは、場合によっては著しく異なる可能性があります。したがって、将来予測は、過度に信頼すべきではなく、不確実性やリスク要因をあわせて考慮する必要がある点にご留意ください。実際の結果に影響を与える可能性がある重要なリスク要因としては、経済情勢、市場環境、政治的イベント、投資家のセンチメント、セカンダリー市場の流動性、金利の水準とボラティリティ、為替レート、有価証券の評価、競争の条件と質、取引の回数とタイミング等が含まれるほか、当社ウェブサイト(http://www.nomura.com)、EDINET(http://info.edinet-fsa.go.jp/)または米国証券取引委員会(SEC)ウェブサイト(http://www.sec.gov)に掲載されている有価証券報告書等、SECに提出した様式20-F年次報告書等の当社の各種開示書類にもより詳細な記載がございますので、ご参照ください。

なお、本資料の作成日以降に生じた事情により、将来予測に変更があった場合でも、当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。

本資料に含まれる連結財務情報は、監査対象外とされております。

- エグゼクティブ・サマリー
- 2013年3月期第3四半期決算の概要
- 税前利益~当期純利益の分解
- 営業部門、アセット・マネジメント部門、ホールセール部門
- 金融費用以外の費用
- コスト削減の進捗
- バランスシート・マネジメント
 - 欧州周辺国へのエクスポージャー、レベル3資産等
 - 流動性ポートフォリオ
 - 調達構造
 - 強固な財務基盤
- 参考資料

決算 ハイライト

- 収益: 3.891億円 (前四半期比:3%減)
 - 3ビジネス・セグメントが前四半期比で増収となるも、全社ベースでは若干の減収
 - ▼ 野村土地建物に関連する連結会社の減収(16%)や、自社およびカウンター・パーティのクレジット・スプレッドの変化に起因する損失などが主な要因
- 税前利益: 130億円 (前四半期比:63%減)
 - 海外各地域が税前黒字を達成
 - 連結会社の変動持分事業体1が保有する不動産を中心に、241億円の評価損を計上
 - √ 非支配持分等で差し引かれるため、当期純利益²への影響額は-21億円
- 当期純利益²: 201億円 (前四半期比:7.2倍)
 - 大幅に改善 ~ ROE(年率換算ベース):3.8%
- 3ビジネス・セグメント合計の収益は3,034億円(前四半期比:30%増)、税前利益は719億円(前四半期比:4.6倍)と2010年3月 期第3四半期以来の高水準

バランスシート・マネジメント

- バランスシートの健全性
 - 流動性の高い、健全なバランスシート構造(資産の80%は流動性の高いトレーディング関連資産)
 - 4 保守的なリスク・プロファイル
- 潤沢な手元流動性を保持 (流動性ポートフォリオ残高5.5兆円、総資産対比14%)
- 保守的な調達構造 (無担保調達資金の約8割が長期負債、償還年限および調達先は幅広く分散)
- 強固な財務基盤を維持
 - バーゼル2.5ベース³: Tier1比率16.9%、Tier1コモン比率14.9%
 - バーゼル3ベースの試算値³: Tier1比率10.6%、Tier1コモン比率10.6%

⁽¹⁾ 議決権の過半を保有することによる支配はないものの、次の要件を満たす事業体:①当該変動持分事業体の最も重要な活動を支配するパワーを有し、②利益を享受する権利または損失を負担する義務が重要と判定される持分を有し、③受託者として他の受益者のために行動していない事業体

²⁾ 当社株主に帰属する当期純利益(3)2012年12月末より、信用リスク・アセットの算出に用いるエクスポージャーの額は、期待エクスポージャー方式(IMM)を用いて算出

2013年3月期決算の概要(第3四半期)



四半期 通期 ハイライト

(10億円)	2012年	2012年3月期		013年3月	期	前四	前年	2012年度	前年
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	半期比	同期比	1-3Q累計	同期比
収益合計 (金融費用控除後)	404.9	499.0	369.3	401.7	389.1	-3%	-4%	1,160.0	+12%
営業部門	79.7	92.4	82.7	80.8	95.7	+18%	+20%	259.2	+1%
アセット・ マネジメント部門	15.3	15.7	16.4	15.4	18.8	+22%	+23%	50.6	+1%
ホールセール部門	175.1	158.4	121.9	137.1	189.0	+38%	+8%	447.9	+13%
3セグメント合計	270.1	266.5	221.0	233.3	303.4	+30%	+12%	757.8	+8%
その他 ^{1,2}	137.3	222.6	154.6	156.0	76.8	-51%	-44%	387.3	+14%
投資持分証券の 評価損益 ³	-2.5	9.9	-6.3	12.4	8.9	-28%	-	14.9	-
金融費用以外の費用4	370.5	438.2	349.6	366.3	376.1	+3%	+2%	1,092.0	+8%
税前利益	34.5	60.8	19.7	35.4	13.0	-63%	-62%	68.0	+181%
3セグメント合計	51.4	36.3	9.0	15.7	71.9	4.6x	+40%	96.7	9.9x
その他 ^{1,2,4}	-14.5	14.6	17.0	7.3	-67.9	-	-	-43.5	-
投資持分証券の 評価損益 ³	-2.5	9.9	-6.3	12.4	8.9	-28%	-	14.9	-
—————————————————————————————————————	17.8	22.1	1.9	2.8	20.1	7.2x	+13%	24.8	-

■ 営業部門

収益:957億円(前四半期比18%増)

税前利益: 203億円(前四半期比85%増)

- 市場環境の好転を受け、投資家のリスク許容度が向上
 - ~ 株式・投信を中心に募集買付が伸長

アセット・マネジメント部門

収益:188億円(前四半期比22%増)

税前利益:73億円(前四半期比60%増)

- 投資環境の改善と資金流入により、運用資産残高が増加
 - ~ 成功報酬等もあり、税前利益は大幅に増加

■ ホールセール部門

収益:1,890億円(前四半期比38%増)

税前利益:444億円(前四半期比230倍)

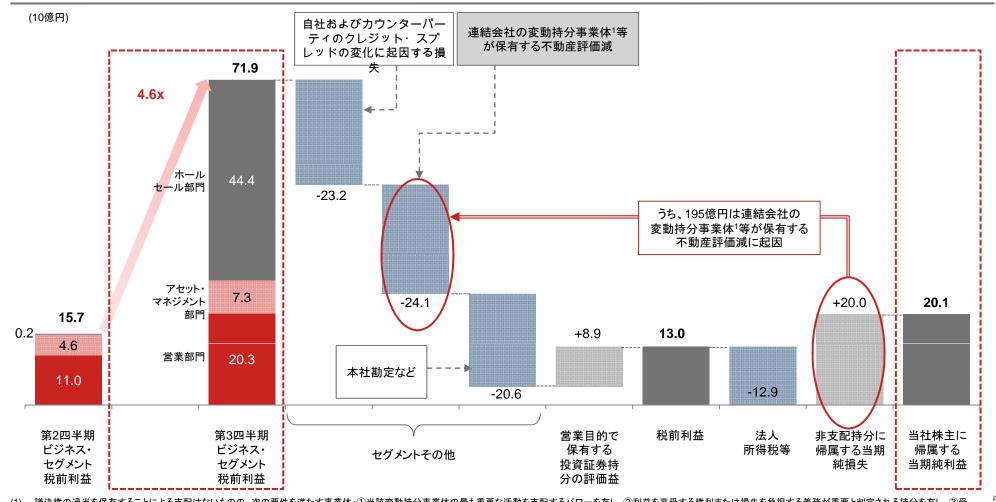
- 全ビジネスライン・海外各地域が前四半期比増収
 - ~ 部門税前利益は大幅に改善し、2010年3月期第3四半期以 来の高水準
- フィクスト・インカムが収益を牽引
 - ~ 全プロダクト・地域が貢献

■ 第3四半期に関する補足

- 連結業績に含まれる野村土地建物関連の収益合計(金融費用控 除後):1,089億円(前四半期比16%減)
- 自社およびカウンター・パーティのクレジット・スプレッドの 変化に起因する損失(232億円)
- 金融費用以外の費用、税前利益は連結会社の変動持分事業体⁶ が保有する不動産を中心に、241億円の評価損を計上
 - ✓ 非支配持分等で差し引かれるため、当期純利益⁵への影響額 は-21億円

⁽¹⁾ 野村土地建物の子会社化に伴う連結会社を含む (2) 自社およびカウンター・パーティのクレジット・スプレッドの変化に起因する損失(232億円) (3) 営業目的で保有する投資持分証券の評価損益

⁽⁴⁾ 連結会社の変動持分事業体が保有する不動産を中心に、評価損を計上(241億円) (5) 当社株主に帰属する当期純利益(6) 議決権の過半を保有することによる支配はないものの、次の要件を満たす事業体:①当該変動持分事業体の最も重要な活動を支配するパワーを有し、②利益を享受する権利または損失を負担する義務が重要と判定される持分を有し、③受託者として他の受益者のために行動していない事業体



⁽¹⁾ 議決権の過半を保有することによる支配はないものの、次の要件を満たす事業体:①当該変動持分事業体の最も重要な活動を支配するパワーを有し、②利益を享受する権利または損失を負担する義務が重要と判定される持分を有し、③受 託者として他の受益者のために行動していない事業体

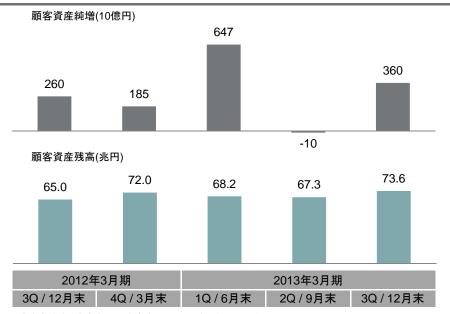
営業部門

NOMURA

収益合計(金融費用控除後)、税前利益

(10億円)	2012年	≅3月期	2	2013年3月其	Я	前四半期比	前年同期比
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	1 70120	1. 379325
収益合計 (金融費用控除後)	79.7	92.4	82.7	80.8	95.7	+18%	+20%
金融費用以外の費用	69.6	72.1	70.5	69.8	75.4	+8%	+8%
税前利益	10.1	20.3	12.2	11.0	20.3	+85%	+101%

顧客資産純増1と顧客資産残高



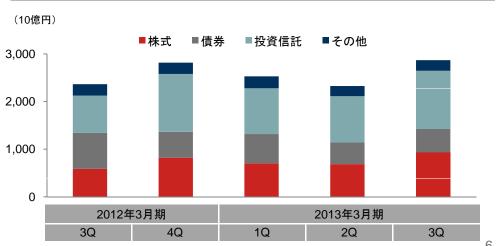
決算のポイント

- 前四半期比で増収増益:市場環境の好転を受け、投資家のリスク許容度が向上
 - 株式・投信を中心に募集買付が伸長
 - 幅広い商品ラインアップとコンサルティング営業の継続により、顧客資産が純増
 - 業務系基幹システム刷新に伴い、システム除却損約60億円を計上~堅調な収 益で費用増を吸収

顧客基盤

- 顧客資産残高 73.6兆円 - 残あり顧客口座数 501万口座 3,605億円 - 顧客資産純増

総募集買付額



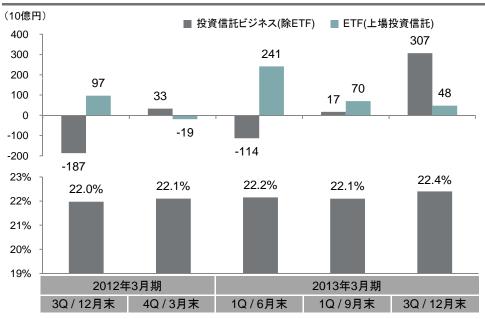
アセット・マネジメント部門

NOMURA

収益合計(金融費用控除後)、税前利益

(10億円)	2012年	3月期	2	013年3月期	ı	前四半期比	前年同期比	
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	十州山	问别比	
収益合計 (金融費用控除後)	15.3	15.7	16.4	15.4	18.8	+22%	+23%	
金融費用以外の費用	11.1	11.6	11.0	10.9	11.5	+5%	+4%	
税前利益	4.2	4.1	5.4	4.6	7.3	+60%	+72%	

投資信託ビジネスの資金流出入1、野村アセットマネジメントの公募投信シェア2



決算のポイント

- 投資環境の改善と資金流入により運用資産残高が増加
- 成功報酬等もあり、税前利益は2012年3月期第1四半期以来の高水準

投資信託ビジネス

- 野村證券チャネル
 - 多様な顧客ニーズに対応した商品提供と販売支援を通じて資金流入が拡大
 - 安全志向の資金を取り込む円投資型投信にも資金が流入

第3四半期資金流入額

✓ 野村高配当インフラ関連株プレミアム(通貨選択型): 2,309億円

✓ 野村エマージング・ソブリン円投資型シリーズ3: 1,293億円

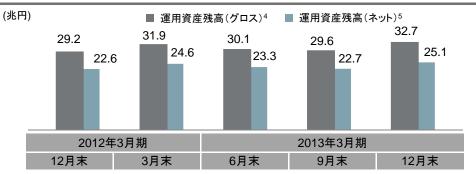
✓ 野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型): 400億円

- 銀行チャネル
- 野村新興国債券投信Aコース:12月末残高1.691億円(前四半期末比24%増)
 - ✓ モーニングスター「Fund of the Year 2012」優秀ファンド賞を受賞
 - ✓ 販売会社向けにマーケティング支援を継続的に実施、残高が拡大

投資顧問ビジネス

- 国内外の年金等から資金流入
 - 顧客ニーズにマッチした多様な運用プロダクトを通じて資金を獲得 (日本株、アジア株・債券、ハイ・イールド債、他)

運用資産残高



(1) 運用資産残高(ネット)に基づく資金流出入額(2) 出所・投資信託協会 (3) 同単位型投信1210、1211、1212の合計金額(4) 野村アセットマネジメント、野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント、野村プライベート・エクイティ・キャピタル、ノムラ・ファンド・ リサーチ・アンド・テクノロジーズ・アメリカの運用資産の単純合計(5) 運用資産残高(グロス)から重複資産控除後

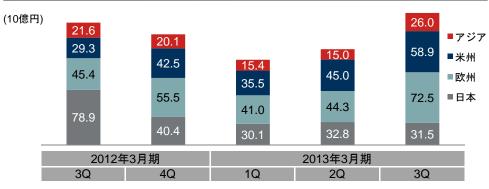
ホールセール部門

NOMURA

収益合計(金融費用控除後)、税前利益1

	2012年3	3月期	20	13年3月期		前四	前年	
(10億円)	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	半期比	同期比	
収益合計 (金融費用控除後)	175.1	158.4	121.9	137.1	189.0	+38%	+8%	
フィクスト・インカム	76.4	87.0	71.5	88.6	110.7	+25%	+45%	
エクイティ	39.6	51.6	37.1	32.1	47.3	+47%	+19%	
インベストメント・ バンキング(ネット)	23.6	21.2	15.1	15.8	17.7	+12%	-25%	
その他	35.5	-1.4	-1.8	0.6	13.2	21x	-63%	
インベストメント バンキング	59.1	19.8	13.3	16.4	30.9	+89%	-48%	
金融費用以外の費用	138.1	146.5	130.4	136.9	144.6	+6%	+5%	
税前利益	37.1	11.9	-8.6	0.2	44.4	230x	+20%	
インベストメント・ バンキング(グロス)	45.1	40.5	32.2	33.3	33.4	+0%	-26%	

地域別収益1



- (1) 2012年4月の組織改正に伴いホールセール部門およびその他を組み替えて表示
- . (2) 2010年3月期第1四半期以降 (3) 出所:トムソン・ロイター。期間:2012年1月~12月 (4) 2010年3月期第4四半期以降

決算のポイント

- 全ビジネスライン・海外各地域が前四半期比増収、部門税前利益は大幅改善
- フィクスト・インカムが収益を牽引~顧客フローは堅調、市況変化に伴うビジネス機会を的確に 捉えた
- 収益性改善に向けた取組みを推進中
 - コスト削減に伴う一時費用(約30億円)を計上
 - グローバル・マーケッツの設立~フィクスト・インカム、エクイティの協業促進、経営資源の 効率的配分を図る
 - インベストメント・バンキングは強みを有するビジネスに経営資源を集中

フィクスト・インカム

- 2009年以降2で最大の四半期収益を達成~全プロダクト・地域が貢献
- 堅調な顧客フロー収益に加え、トレーディング収益が増加
- 各プロダクトの状況
- 金利:顧客アクティビティの増加、収益機会の拡大により、全地域で増収
- − クレジット:全地域で収益が大幅に伸長~市況の改善に加え、ストラクチャード/ソリューション・ビジネスが堅調
- 証券化商品:好調であった前四半期比では減速するも、高水準の収益を維持

エクイティ

- 顧客フロー収益
 - 欧米市場の売買代金低迷などにより、前四半期比3%減少
 - グローバルで日本株が再評価されたこと等により、日本は回復
- トレーディング収益
- 全地域で回復 ~ 第3四半期末にかけて、ボラティリティ、株価指数の上昇など、市場環境 が改善
- デリバティブ・ビジネスが大幅に改善
- 日本の顕著な回復に加え、アジアも復調
- グローバル・エクイティ再編は、計画通りに進捗

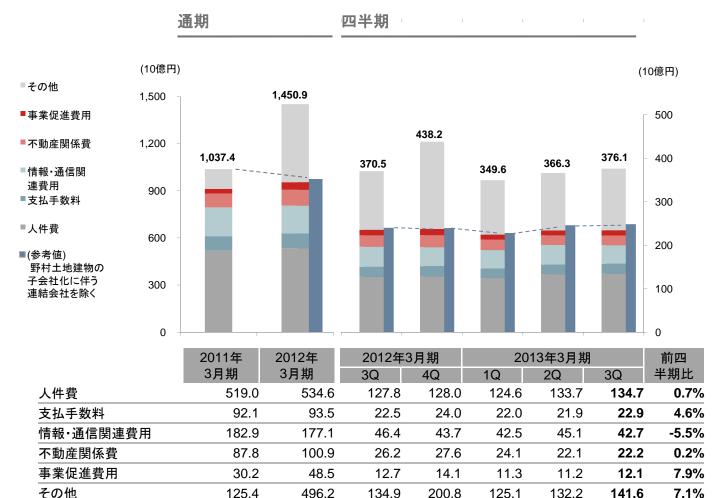
インベストメント・バンキング

- 「その他」収益に、プライベート・エクイティ投資先(アニントン)の譲渡益を計上
- (グロス)収益は前四半期並みの334億円、前年同期比では26%減
- 日本:収益機会が縮小し前四半期比減収となるも、引き続き、全体収益を牽引
 - ▶ REIT中心にECMビジネスが収益に貢献、DCMではサムライ債リーグテーブルで1位³
- 海外:各地域で前四半期比増収、特に米州はビジネス再構築以降4で最高
 - 金融機関向けを中心としたソリューション・ビジネスが、収益に貢献
 - ファイナンシャル・スポンサー関連で幅広いビジネスを獲得~レバレッジド・ファイナンスは件数・収益ともに伸長

金融費用以外の費用

合計

NOMURA



1,037.4

1.450.9

370.5

決算のポイント

- 金融費用以外の費用:3,761億円 (前四半期比:3%増)
- 人件費(前四半期比:1%増)
 - コスト削減に伴う一時費用は39億円 ~前四半期(67億円)から減少
 - 好調な収益を受けて人件費は微増となる も、ランレートは減少
- 情報・通信関連費用(前四半期比:6%減)
 - システム費用の抑制
- その他(前四半期比:7%増)
- 連結会社の売上原価が減少する一方、 変動持分事業体¹が保有する不動産を中 心に241億円の評価減を計上
- システム除却損(73億円)を含む

349.6

366.3

376.1

2.7%

438.2

⁽¹⁾ 議決権の過半を保有することによる支配はないものの、次の要件を満たす事業体:①当該変動持分事業体の最も重要な活動を支配するパワーを有し、②利益を享受する権利または損失を負担する義務が重要と判定される持分を有し、③受託者として他の受益者のために行動していない事業体

コスト削減の進捗 ~ Fit for the Future



総額10億ドルのコスト削減スケジュール

2013年3月期 2013年3月期 2012年9月公表: 10億ドル 2014年3月期 2Q 2H 日本 ホールセール部門:人件費 18% 人件費 35% 81% 100% 43% アジア 15% 米州 21% ホールセール部門:人件費以外の費用 20% 75% 100% 人件費 以外 57% 欧州 46% ホールセール部門:合計 27% 78% 100% 項目別 地域別

2012年12月末までの進捗

- 2012年9月に着手した追加10億ドルのコスト削減は スケジュール通りに進捗
 - コスト構造の大幅な見直し~損益分岐点を引下げ
 - ホールセール部門を対象(エクイティ、インベストメント・バンキング、コーポレートが中心)
 - 2014年3月を目途に完了
- 人件費(全体の43%相当)
 - 人員削減に伴う一時費用39億円を、第3四半期に 計上
 - 退職者の補充見送り、新規採用の抑制
 - プラットフォーム統合、生産性向上などの効率化
- 人件費以外の費用(全体の57%相当)
 - 事業効率化によるシステム費用の抑制
 - 人員数減少に伴う付随コストの削減
 - 2013年3月末までに、75%削減の目途を付ける

バランスシート構造

■ 流動性の高い、健全なバランスシート構造

- 資産の80%は流動性の高いトレーディング関連資産であり、Mark-to-marketの対象。レポ等を通じて、トレーディング関連負債とマッチング(地域/通貨)
- その他の資産は、資本及び長期負債で 調達しており、構造的に安定

■ 保守的なリスク・プロファイル

- GIIPS向けネット・カントリー・エクスポージャーは29.4億ドル(2012年9月末比2.5億ドル減少)
- レベル3資産²(デリバティブ負債相殺 後)はTier1資本の25%

流動性ポートフォリオ3

■ 潤沢な手元流動性

- 5.5兆円、総資産の14%
- 新たな無担保資金調達に頼らず、一定 期間、事業継続可能な高い流動性を常 時保持

貸借対照表 (2012年12月末現在)

く資産>

<負債・資本>

 トレーディング 関連資産¹
 トレーディング 関連負債¹

 その他の負債 短期借入
 を期借入

 その他の資産
 資本合計

調達構造

■ 保守的な調達構造

- 無担保調達資金3の約8割が長期負債
- 償還年限および調達先は幅広く分散

資本基盤

■ 強固な資本基盤

- バーゼル2.5ベース⁴
 Tier1比率: 16.9%、Tier1コモン比率⁵:
 14.9%
- バーゼル3ベースの試算値⁴
 Tier1比率: 10.6%、Tier1コモン比率⁵:
 10.6%
- グロス・レバレッジ: 17.8倍 調整後レバレッジ⁶: 11.6倍

- (1) トレーディング関連資産:リバース・レポ、証券、デリバティブ等、トレーディング関連負債:レポ、負債証券、デリバティブ等 (2) 暫定数値
- (3) 流動性管理の観点に基づくもので、財務諸表の定義と異なる。流動性ポートフォリオの中の現金・預金は取引所預託金およびその他の顧客分別金を含まない
- (4) 2012年12月末より、信用リスク・アセットの算出に用いるエクスポージャーの額は、期待エクスポージャー方式(IMM)を用いて算出 (5) Tier 1コモン比率: Tier 1資本から非支配持分を控除し、リスク調整後資産で除したもの
- (6) 調整後レバレッジは、総資産の額から売戻条件付買入有価証券および借入有価証券担保金の額を控除した額を、当社株主資本の額で除して得られる比率

欧州周辺国へのエクスポージャー、レベル3資産等

NOMURA

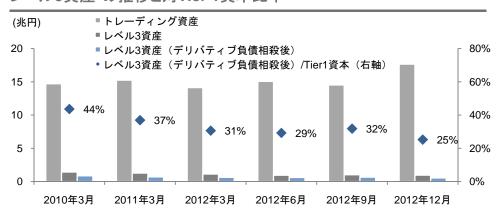
欧州周辺国(GIIPS)のカントリー・エクスポージャー

(2012年12月末時点、速報値)

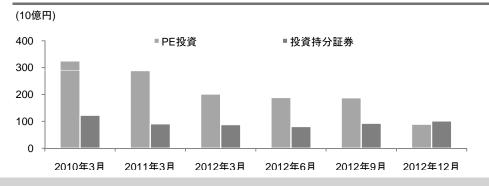
(百万ドル)

	インベントリー (ネット) ¹	カウン	ノターパーティ(ネ	ネット・エクス ポージャー合計	9月末からの 変動	
	合計	うち、 カウンター パーティ ²	うち、引当 /ヘッジ等	合計		
ギリシャ	93	91	-54	37	130	35
アイルランド	353	34	-3	31	384	-37
イタリア	1,486	613	-345	268	1,754	554
ポルトガル	-10	157	-165	-8	-17	-3
スペイン	526	247	-88	160	686	-798
欧州周辺国 - 合計	2,449	1,142	-654	488	2,937	-249
ソブリン	2,195	452	-568	-117	2,078	532
ソブリン以外	255	690	-86	604	859	-781

レベル3資産3の推移と対Tier 1資本比率



プライベートエクイティ/投資持分証券



- 12月末現在、欧州周辺国へのネット・カントリー・エクスポージャーは29.4億ドル
 - 9月末(31.9億ドル)から2.5億ドル(8%)減少
 - ネット・エクスポージャーに占めるソブリンの割合は約7割 ~ ソブリン以外のインベントリーが減少する一方、ソブリンは増加
 - インベントリーは全てトレーディング資産として保有しており、Mark-to-marketの対象
- Tier1資本に占めるレベル3資産(デリバティブ負債相殺後)は25%、プライベート・エクイティおよび投資持分証券についても引続き低水準
 - 12月にはプライベート・エクイティ投資先(アニントン)の譲渡を完了



流動性管理

■ 流動性ストレステスト ~ リスク許容範囲を定量的に規定

- 以下のようなマーケット全体に対するストレスや自社の信用にストレスが掛かる状況においても、一定期間事業を維持できるような流動性を常時保持することを目的として、日次でストレステストを実施

■ 主なシナリオ・前提

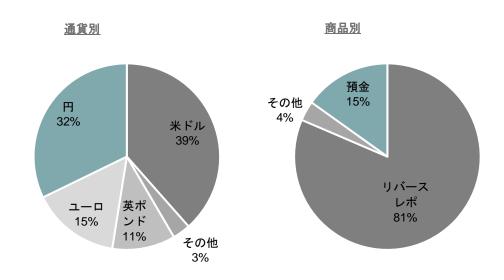
- 追加の無担保調達を行うことができない状況
- 既存のレポ調達時の担保掛目の拡大
- 決済銀行からの担保・預託金追加要求
- コミットメント提供先のドローダウン
- 損失に伴う資金の喪失
- 信用格付格下げ時の担保等の想定流出額 等

■ 流動性ポートフォリオの構成

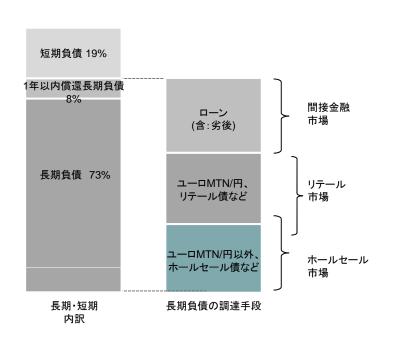
- 流動性ポートフォリオについては、日・米・独・英の国債を中心とした リバースレポ、現預金等で運用
- 欧州周辺国(GIIPS)関連資産での運用はなし

流動性ポートフォリオ1: 5.5兆円(\$64bn)、総資産の14%相当

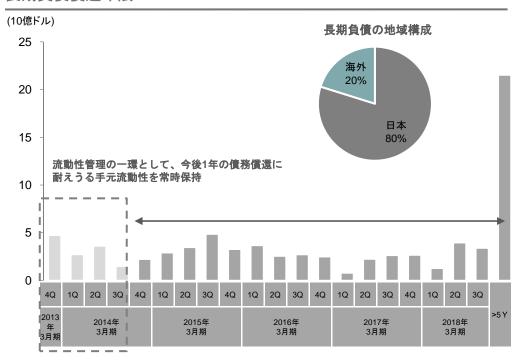
構成比 (2012年12月)



無担保調達資金1:約8割が長期負債、調達先は分散



長期負債償還年限2



■ 保守的な調達構造

- 無担保調達資金は約8割が長期負債で構成されており、償還時期は分散、かつ平均償還年限^{2,3}は約6年と安定的
- 調達先についても、間接金融、リテール市場、ホールセール市場とほぼ均等に分散
- 第3四半期において、630億円の公募社債を発行
- (1) 流動性管理の観点に基づくもので、財務諸表の定義と異なる
- 2) ストレスシナリオでの早期償還確率を織り込む
- (3) 1年以内償還長期負債を除く

強固な財務基盤

NOMURA

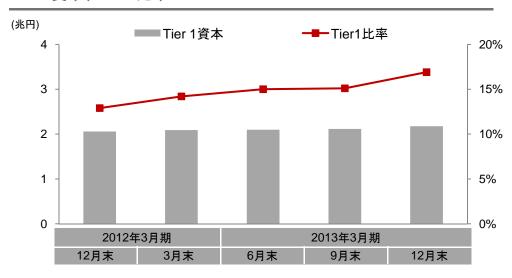
バランス・シート関連指標と自己資本比率

■ 資産合計	(2012年9月末) 35.4兆円	(2012年12月末) 38.6兆円
■ 当社株主資本	2.1兆円	2.2兆円
グロス・レバレッジ調整後レバレッジ¹	16.9倍 10.6倍	17.8倍 11.6倍

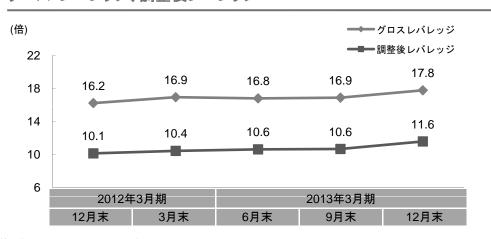
(10億円)

速報値 バーゼル2.	速報値 バーゼル2.5ベース		12月末2	
	Tier 1	2,115	2,176	
	Tier 2	319	321	
	Tier 3	212	251	
自己資本合計		2,418	2,494	
リスク調整後資産		13,923	12,862	(Basel3ベースの 試算値 ²)
Tier 1 比率		15.1%	16.9%	10.6%
Tier 1 コモン比率 ³		13.1%	14.9%	10.6%
自己資本比率		17.3%	19.3%	12.4%

Tier 1資本、Tier 1比率³



グロス・レバレッジ、調整後レバレッジ1



- (1) 調整後レバレッジは、総資産の額から売戻条件付買入有価証券および借入有価証券担保金の額を控除した額を、当社株主資本の額で除して得られる比率
- (2) 2012年12月末より、信用リスク・アセットの算出に用いるエクスポージャーの額は、期待エクスポージャー方式(IMM)を用いて算出
- (3) Tier 1コモン比率: Tier 1資本から非支配持分を控除し、リスク調整後資産で除したもの

参考資料

バランス・シート関連データ

NOMURA

		(単位:百万円)				(単位:百万円)	
_	前期	2013年3月期			前期	2013年3月期	
	(2012.3.31)	第3四半期 (2012.12.31)	前期比増減		(2012.3.31)	第3四半期 (2012.12.31)	前期比増減
	(2012.0.01)	(2012.12.01)		負債および資本	(2012.0.01)	(2012.12.01)	
~ -							
現金・預金:				短期借入	1,185,613	933,756	△ 251,857
現金および現金同等物	1,070,520	820,045	△ 250,475	-t-to the 7th by 1 a does no ten A			
定期預金	653,462	439,082	△ 214,380	支払債務および受入預金:	=		207.204
取引所預託金およびその他の顧客分別金	229,695	264,418	34,723	顧客に対する支払債務	764,857	457,551	△ 307,306
計	1,953,677	1,523,545	Δ 430,132	顧客以外に対する支払債務	767,860	759,508	Δ 8,352
				受入銀行預金 	904,653	961,405	56,752
貸付金および受取債権:				計	2,437,370	2,178,464	Δ 258,906
貸付金	1,293,372	1,296,883	3,511				
顧客に対する受取債権	58,310	79,855	21,545	担保付調達:	0.020.202	12 110 271	2 102 070
顧客以外に対する受取債権	864,629	884,240	19,611	買戻条件付売却有価証券	9,928,293	13,110,371	3,182,078
貸倒引当金	Δ 4,888	Δ 4,361	527	貸付有価証券担保金	1,700,029	2,267,597	567,568
<u></u>	2,211,423	2,256,617	45,194	その他の担保付借入	890,952	913,630	22,678
				計	12,519,274	16,291,598	3,772,324
担保付契約:				トレーディング負債	7,495,177	7.246.200	Δ 248,889
売戻条件付買入有価証券	7,662,748	8,379,315	716,567	トレーティング 負債 その他の負債	1,165,901	7,246,288 1,125,264	Δ 248,889 Δ 40,637
借入有価証券担保金	6,079,898	5,096,044	Δ 983,854	長期借入	8,504,840	8,351,776	Δ 40,037 Δ 153,064
<u> </u>	13,742,646	13,475,359	Δ 267,287	大朔旧八	8,304,840	8,331,770	Δ 133,064
_				負債合計	33,308,175	36,127,146	2,818,971
トレーディング資産およびプライベート・エクイティ投資:							
トレーディング資産※	13,921,639	17,566,074	3,644,435	資本			
プライベート・エクイティ投資	201,955	89,545	Δ 112,410	当社株主資本:			
<u></u>	14,123,594	17,655,619	3,532,025	資本金			
				授権株式数 - 6,000,000,000株			
				発行済株式数 - 2012年 3月31日現在 3,822,562,601株 2012年 12月31日現在 3,822,562,601株			
その他の資産:				発行済株式数			
建物、土地、器具備品および設備 (2012年 3月31日現在 355.804 百万円、				(自己株式控除後)- 2012年 3月31日現在 3,663,483,895株			
2012年 12月31日現在 383,691 百万円の減価償却累計額控除後)	1,045,950	1.097.812	51,862	2012年 12月31日現在 3,704,073,196株	594,493	594,493	_
トレーディング目的以外の負債証券※	862,758	945,236	82,478	資本剰余金	698,771	689,680	Δ 9,091
投資持分証券※	88,187	101,784	13,597	利益剰余金	1,058,945	1,076,367	17,422
関連会社に対する投資および貸付金※	193,954	201,079	7,125	累積的その他の包括利益	Δ 145,149	Δ 117,931	27,218
その他	1,475,123	1,305,178	Δ 169,945	計	2,207,060	2,242,609	35,549
<u></u>	3,665,972	3,651,089	Δ 14,883	ウコサナ/取得/IT 05/\			
				自己株式(取得価額) 自己株式数- 2012年 3月31日現在 159,078,706株			
資産合計	35,697,312	38,562,229	2,864,917	2012年 12月31日現在 118,489,405株	Δ 99,819	Δ 74,719	25,100
				当社株主資本合計	2,107,241	2,167,890	60,649
※担保差入有価証券を含む				非支配持分	281,896	267,193	Δ 14,703
				非文配付为 資本合計	2.389,137	2,435,083	45,946
				貝本ロ司 負債および資本合計	35.697.312	38,562,229	2,864,917
				RIKIUUU ATHII	33,077,312	30,302,227	2,004,717

連結損益

NOMURA

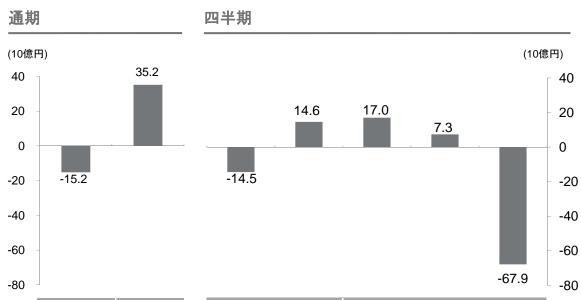
132	440	
-88	RD.	
ᄪ	70.	

四半期

(10億円)	2011年	2012年	2012年3			013年3月期	
	3月期	3月期	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
収益							
委託·投信募集手数料	405.5	347.1	74.0	90.4	77.4	72.3	83.7
投資銀行業務手数料	107.0	59.6	17.2	14.8	10.4	17.1	13.0
アセットマネジメント業務手数料	143.9	144.3	33.4	35.1	33.8	33.4	35.0
トレーディング損益	336.5	272.6	80.1	98.9	84.4	88.9	88.2
プライベート・エクイティ投資関連損益	19.3	25.1	34.6	-1.2	-5.4	0.3	11.6
金融収益	346.1	435.9	103.1	92.4	103.5	92.8	99.7
投資持分証券関連損益	-16.7	4.0	-2.8	9.9	-7.1	13.0	8.9
その他	43.9	563.2	141.9	225.0	142.6	143.4	118.8
収益合計	1,385.5	1,851.8	481.5	565.4	439.6	461.2	459.0
金融費用	254.8	315.9	76.6	66.4	70.3	59.5	69.9
収益合計(金融費用控除後)	1,130.7	1,535.9	404.9	499.0	369.3	401.7	389.1
金融費用以外の費用	1,037.4	1,450.9	370.5	438.2	349.6	366.3	376.1
税引前当期純利益(損失)	93.3	85.0	34.5	60.8	19.7	35.4	13.0
当社株主に帰属する当期純利益(損失)	28.7	11.6	17.8	22.1	1.9	2.8	20.1

NOMURA セグメント「その他」

税前利益(損失)



	2011年	2012年	2012年	3月期		2013年3月其	期	
	3月期	3月期	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	
経済的ヘッジ取引に関連する損益	2.3	8.4	7.7	-2.1	-1.2	2 1.0	0.4	
営業目的で保有する投資持分証券 の実現損益	0.2	0.2	-0.3	0.0	-0.7	0.6	-0.0	
関連会社損益の持分額	9.0	10.6	1.3	3.9	1.3	3.3	4.5	
本社勘定 ¹	-34.5	-32.1	-29.0	-7.1	6.6	-7.0	-14.8	
その他 ^{1,2}	7.8	48.1	5.8	19.9	11.1	9.5	-58.0	
税前利益(損失)	-15.2	35.2	-14.5	14.6	17.0	7.3	-67.9	

バリュー・アット・リスク



■ VaRの前提

- 信頼水準: 99%

- 保有期間 : 1日

- 商品の価格変動等を考慮

■ VaRの実績(10億円)

- 期間: 2012.4.1~2012.12.31

- 最大 : 8.7

- 最小 : 4.3

- 平均 : 6.2

(10億円)	2011年 3月末	2011年 6月末	2011年 9月末	2011年 12月末	2012年 3月末	2012年 6月末	2012年 9月末	2012年 12月末
株式関連	1.8	1.6	1.9	1.5	1.4	1.2	1.0	2.4
金利関連	4.1	4.3	4.0	5.0	6.5	5.7	6.6	6.4
為替関連	4.5	3.8	2.8	3.5	2.5	1.7	1.9	2.1
小計	10.4	9.7	8.8	10.0	10.4	8.6	9.5	11.0
分散効果	-4.1	-3.7	-3.6	-3.6	-3.2	-3.2	-2.3	-3.8
連結VaR	6.3	6.0	5.2	6.4	7.2	5.4	7.1	7.2

人員数



	2011年3月末	2011年6月末	2011年9月末	2011年12月末	2012年3月末	2012年6月末	2012年9月末	2012年12月末
日本(FA除く) ¹	12,829	20,263	20,105	19,882	19,598	20,197	20,039	19,877
FA社員	2,089	2,096	2,078	2,048	2,011	2,014	1,981	1,951
欧州	4,353	4,436	4,492	4,143	4,014	3,975	3,940	3,747
米州	2,348	2,383	2,537	2,466	2,420	2,423	2,425	2,316
アジア・オセアニア2	5,252	6,452	6,485	6,394	6,352	6,454	6,430	6,207
合計	26,871	35,630	35,697	34,933	34,395	35,063	34,815	34,098

⁽¹⁾ プライベート・エクイティ投資先企業等の人員数は含まない(2) インド(ポワイ・オフィス)を含む

格付け

NOMURA

2012年12月31日現在	Standard & Poor's	Moody's ¹	格付投資情報 センタ <i>ー</i> (R& I)	日本格付 研究所(JCR)
野村ホールディングス株式会社				
長期格付	BBB+	Baa3	A+	AA-
短期格付	A-2	-	a-1	-
見通し	安定的	安定的	ネガティブ	安定的
野村證券株式会社				
長期格付	A-	Baa2	A+	AA-
短期格付	A-2	P-2	a-1	-
見通し	安定的	安定的	ネガティブ	安定的
野村信託銀行株式会社				
長期格付	A-	-	-	AA-
短期格付	A-2	-	a-1	-
見通し	安定的	-	-	安定的
ノムラ・バンク・インターナショナル PLC				
長期格付	A-	-	-	AA-
短期格付	A-2	-	-	-
見通し	安定的	-	-	安定的

⁽¹⁾ Moody's Investors Serviceは、日本の金融商品取引法上の登録を受けた信用格付業者ではありません。